

教育総務部長目標

教育総務部長 千葉 裕之(ちば ひろゆき)



当部の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



ゼロカーボンシティ実現に向けた当部の方針

2050年のゼロカーボンシティ実現に向け、環境に配慮した施設の整備を進めます。令和4年度は小中学校をはじめとした教育施設のLED化整備事業、中学校校舎内部改修(木質化)事業等に取り組みます。

教育総務部の仕事

教育総務部は、教育総務課、教育施設課、社会教育課、スポーツ振興課、文化財保護課、生涯学習推進センター、所沢図書館の7課で構成され、教育委員会所掌事務のうち、教育委員会の庶務、教育施設の整備、生涯学習、社会教育の推進、スポーツの振興、文化財の保護、図書館の運営などを主な仕事にしています。

教育総務部の令和4年度の目標

教育総務部の今年度の重点的な目標は、小中学校LED化整備事業、歴史的建造物整備活用事業、所沢シティマラソン大会開催事業、家庭教育推進事業 などに取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大・収束状況を踏まえながら、学校運営に必要な環境整備や所管施設の適切な管理に努めます。

目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	小中学校 LED化整備事業	小中学校の屋内運動場及び武道場に設置されている既存照明をLED照明に改修することで、明るい空間にリニューアルします。	令和4年から令和5年度にかけて、小学校32校、中学校15校の全47校の工事を実施します。	計画どおり契約を締結し、令和4年度は、小学校8校、中学校4校の工事が完了しました。引き続き全47校の完了に向けて工事を進めます。

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
2	歴史的建造物整備活用事業	寿町にある国登録有形文化財「秋田家住宅」及びその周辺の整備と活用を図るものです。歴史文化の情報発信や様々な活動の展開を通じて、「ふるさと所沢」への愛着や理解を深めるとともに、中心市街地の活性化や回遊性向上を目的とした事業です。	令和4年度は整備活用基本方針策定委員会及び庁内検討調整会議において、整備活用基本方針の策定を行います。	「所沢市寿町歴史的建造物整備活用基本方針」を策定しました。
3	所沢シティマラソン大会開催事業	世代や性別を問わず誰でも気軽に参加できるスポーツイベントとして、毎年12月に開催し、市民のスポーツ活動への参加を高めます。	スポーツ団体等で構成する実行委員会を組織し、市民の健康づくりや参加者が交流する機会を提供することで、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を図ります。令和2年度から2大会続けての開催中止となりましたが、令和4年度は感染対策を図りながら、開催に向けて取り組みます。	3年ぶりの開催となりましたが、全国から約5,000名のエントリーがあり、大きな事故もなく、盛大に開催することができました。また、選手の来場時には検温や手指消毒を実施するなど、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底しました。
4	家庭教育推進事業	子どもの健全育成と家庭教育の向上を図るため、各小中学校区に組織される運営委員会に委託して家庭教育学級を開設し、家庭教育について学ぶ機会を保護者等に提供します。	保護者が子育てに自信を持って取り組むきっかけとするため、家庭での教育や子育てについての学習を自ら企画し学ぶ場である家庭教育学級の開設・運営を支援することで、保護者が求める学びの機会の提供に努めます。	感染症対策に配慮し、各学校の状況に応じて実施したため多少の差は生じましたが、全体として前年度を超える参加者となりました。また、学習内容等を工夫した結果、地域や学校、子どもの環境に目を向けた、保護者にとってより身近で関心の高い内容の講座が増加しました。